

第1号議案 2018～2019年度運動方針に関する件

1. 総合労働条件改善闘争の取り組みを推進します

2019年闘争は、総合労働条件改善闘争の2年サイクルの中間年の取り組みとして位置づけ賃金・一時金を中心に取り組みます。労働協約関連課題については、政策指標達成に向けた取り組みや、労働法制見直しへの対応など、必要に応じて適宜取り組みます。

具体的な闘争方針については、2019年1月の幹事会開催時に第105回中央委員会議案オルグで説明します。また、地区闘争会議を2月と4月に開催し、要求の立案および闘争結果と課題について意見交換を行います。

2. 最低賃金の改善に向けた取り組みを強化します

法定電機最低賃金は、直接雇用の非正規労働者を含む全ての電機産業に働く労働者が、同一価値労働＝同一賃金の観点や公正競争確保を通じてサプライチェーン全体の健全な成長を促す役割が期待されています。「産業別最低賃金」（18歳見合い）の水準引上げならびに年齢別最低賃金等の企業内最低賃金については、2017年闘争においても電機産業労使として社会的責任を果たす必要があるとの認識に至っています。法定電機最低賃金との連動を一層強めて取り組みを進めます。

法定地域別最低賃金についても、連合との連携を図って取り組みを進めます。

3. 総合的なセーフティネットの充実に努めます

(1) 「くらしの法律相談」の取り組み

組合員のセーフティネットの一環として、荒巻弁護士による「くらしの法律相談」と司法書士の「しずおかりぶあらいふ」と顧問契約を継続し、引き続き実施します。顧問弁護士・顧問司法書士の委嘱については、第3号議案で提案します。

(2) 電機連合ハートフルセンターの取り組み

ハートフルセンターはプロのカウンセラーが、組合員やその家族からの心の相談をはじめ、総合的なメンタルヘルスケアの窓口として広く活用されています。各会議などで加盟組合に対するハートフルセンターの活用PRに努めます。

4. 自主福祉運動の強化に向けて共済制度の充実・発展を図ります

(1) 自主福祉を基本とした電機共済制度の展開

目標設定については未加入者の1.5%とし、中長期的には組合員の40%加入をめざした取り組みを進めます。目標達成に向けては、幹事会でのフォローや「電機共済加入促進会議」を11～12月に開催し、2018年の共済推進の方針や制度改善の周知を図ります。

「ねんきん共済」「けんこう共済」「ファミリーサポート共済」そして新入社員向けの「フレッシュャーズプラン」などの制度周知を図り加入促進を進めます。引き続き共済センターと連携を取り、(株)マックス推進役と加盟組合への訪問活動を展開し、各組織の理解を得ながら目標達成をめざします。

(2) 労金・全労済運動とユニオントラベルの連携の強化

労金・全労済への派遣役員と連携を密にして、産別として組合員の安心・安全を保障する自主福祉活動に取り組みます。

労金活動については「書記長会議」、全労済活動については「電機静岡全労済運営委員会」を開催し、活動の強化を図ります。

また、ユニオントラベルについては周知・利用促進を図ります。

5. 男女平等参画社会およびワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組みます

「男女参画委員会」の活動も第14期（16年目）を迎えます。充実した会社人生を送るにはワーク・ライフ・バランスの実現、働き方改革が必要であり、地協としての運動の柱として取り組んでいきます。また、引き続き二役会を開催し「意義とねらい」を浸透させ委員会で内容充実を図り、委員が各組織に持ち帰り活動を積極的に行い、組織での活動の広がりを確認しながら委員会を進めていきます。それぞれの課題に対し問題意識を持ち情報を共有しながら委員の育成にも努めていきます。

上部団体としては、連合静岡「男女共同参画推進委員会」、「女性リーダー情報交換会」に参加して、積極的な意見反映に努めるとともに、電機連合「地協男女平等担当者会議」に参加して他地協との交流を図りながら活発な活動展開をめざします。

6. 社会貢献活動に取り組みます

加盟組合の協力によるBOXティッシュ販売と冠行事などのボランティア基金活動をもとに、引き続き「カンボジア支援活動」に取り組みます。また、昨年同様に「腎臓バンク推進活動」「盲導犬育成支援活動」「フードバンクふじのくに支援活動」に取り組みます。

カンボジア支援活動については14年が経過し、これまで9回にわたり計95名を現地に派遣し134基の井戸を寄贈してきました。

当面、活動は継続していきますが、現地支援の方法や支援状況の確認方法等について、改善を図っていきたいと考えます。

7. 選挙に万全の態勢で取り組みます

(1) 地方自治体選挙の取り組みについて

2019年4月に実施される第19回統一地方選挙では地協組織内議員で沼津市議会議員の渡部一二実議員（富士通労組プロダクトグループ沼津ブロック出身）の4期目、同じく深田昇議員（明電舎労組沼津支部出身）の3期目の当選に向け加盟組織一丸となって取り組みます。また、上部団体から推薦要請のあった各級選挙の立候補者には、速やかに推薦手続きを行い当選に向けて支援協力を努めます。

(2) 第25回参議院選挙の取り組みについて

①「石上としお」支援の取り組み

電機連合組織内公認候補である「石上としお」(東芝グループ連合出身・国民民主党)参議院議員の2期目の挑戦に向けて組織の総力を挙げて取り組みます。

加盟組織の「縦」の取り組みのさらなる強化・徹底とともに、地協で効果的な「横串」機能を加え必勝をめざします。



石部議長と石上としお候補

②静岡選挙区の取り組み

連合静岡による推薦決定を受け、静岡地協としても「榛葉賀津也」(国民民主党・社会に貢献する電機産業を考える会所属)参議院議員の推薦を決定しました。4期目の必勝に向け「石上としお」候補と連動した取り組みを進めます。

8. 政策・制度実現のため政治活動の取り組みを強化します

(1) 地域における政策・制度実現に向けた政治活動の推進について

議員団活動を推進し、地域での政策・制度課題に取り組みます。なお、各地区協の幹事会などで組織内議員報告会を開催します。また地協議員団会議を開催しながら連携を取り、政策制度要求実現に向け取り組みます。

(2) 電機連合静岡政治活動委員会の会員募集を実施します

地協常任幹事会役員と地協直加盟組合の協力を得て、電機連合静岡政治活動委員会の会員募集に取り組みます。

(3) 国民民主党サポーター募集の取り組み

国民民主党を支援する取り組みの一環として、電機連合からの要請に応じて、引き続きサポーター登録に協力します。

9. 平和運動への取り組み

連合の平和行動(沖縄、広島、長崎、根室)に参加します。具体的な取り組み内容については、電機連合からの参加要請をもとに加盟組合に展開します。

10. 組織拡大の取り組みを強化します

1000万人連合実現プランを踏まえ、地協幹事会などで進捗状況を確認しながら加盟組織と連携して組織拡大を計画的に推進します。

加えて、電機連合一括加盟組織(労連)事務局長会議に参画し、縦・横の取り組みをより一層強化し、連携しながら加盟組合企業の未組織グループ子会社・関連会社のアプローチを随時進めていきます。

また、連合静岡とも連携を強化して、「組織拡大委員会」、「組織拡大プロジェクト」に参加し情報を共有し取り組みを進めます。

1 1. 中堅・中小労組への支援を強化します

通年のオルグ活動を通じて中堅・中小労組への支援を積極的にサポートしていきます。特に雇用合理化問題が発生した際は、迅速で実効性のある対応を行えるよう努めます。また、闘争時は地協地区闘会議の開催と巡回オルグを実施して当該労使による決着が図れるよう支援します。

1 2. 新任役員研修を実施します

各組織で新任となった役員を対象に地協として研修会を開催します。研修内容については電機本部の教育部と連携を取り進めます。

1 3. 東海ブロックの連携を強化し積極的に活動に参画します

電機連合東海ブロックにおける各種会議ならびに行事へ積極的に参画します。また、ブロック別の本部三役巡回オルグにも対応します。

(1) 2018年 8月30日(木)～31日(金)	最低賃金担当者会議	(三重地協設営)
(2) 2018年 未定	議長会議	(岐阜地協設営)
(3) 2018年 未定	事務局長会議	(愛知地協設営)
(4) 2018年 11月16日(金)～17日(土)	ユニオンセミナー	(岐阜地協設営)
(5) 2018年 未定	フォーラム議員団会議	(愛知地協設営)
(6) 2018年 11月29日(木)～30日(金)	共済会議	(静岡地協設営)

1 4. 地域の労働運動・自主福祉活動の活性化に向けて継続的に取り組みます

連合静岡と連携して政治活動、最賃審議、組織拡大、男女参画推進など地域の労働運動に取り組みます。

また、労福協活動および福祉事業団体の運営も含めて役員派遣の要請に積極的に対応し、自主福祉活動の一層の発展をめざした取り組みを進めます。